

平成29年度 教育研究業績書

氏名 木村圭司

最終学歴	東京大学大学院理学系研究科地理学専攻 博士課程単位取得満期退学	
取得学位	博士(理学、東京大学)	
所属学会	日本地理学会、日本気象学会、人文地理学会、地理情報システム学会、リモートセンシング学会、写真測量学会、北海道地理学会、奈良地理学会、地球惑星物理学連合、AGUなど	
専門分野	地理学、気候学	
研究課題	観測時代における気候変動による人間への影響	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・世界地誌 I ・地理学講読・調査法(二) ・地理学演習(二) ・地理学卒業演習(二) ・世界遺産地理学演習(一) ・水文学 <ul style="list-style-type: none"> ・海外研修・海外巡検 ・世界遺産学
	大学院修士課程担当科目 (博士前期課程含)	・なし
	大学院博士後期課程担当科目	・なし
	通信教育部担当科目	・気候学
【研究上の特記事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28～30年度：研究代表者：木村圭司：科学研究費補助金・基盤研究(C)(一般)「ユーラシア大陸中北部を移動する低気圧の構造変化と降水の特徴」 ・2017年5月29日～6月9日：インドネシア技術評価応用庁(BPPT)のスライマン博士とアワル氏をJICA研修で受け入れ、「気象予測シミュレーションWRFを用いたセミリアルタイムの気象予測」に関する研修を行った。 ・海外調査① 2017年10月31日～11月6日 the 1st Tropical Peatland Roundtableへの参加のため、インドネシアのジャカルタおよびパランカラヤ ・海外調査② 2018年2月25日～28日 BPPTとの共同研究のためインドネシアのジャカルタ ・海外調査③ 2018年3月9日～14日 科研調査のためカザフスタンのアルマティ 	
【教育上の特記事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・FD研修にて発表(2018年2月9日)「本学の学生の実態報告」 	
【社会的活動】	<ul style="list-style-type: none"> ・第12回 高の原カルチャーサロン【奈良大学地理学講座】「近畿圏の中での奈良～暮らしと環境～」第2回(2018年9月30日)木村 圭司 教授「奈良は温暖化しているか？」 ・日本学術振興会 科学研究費委員会 海外学術調査 人文科学系小委員会 委員 	
【学内活動】 (学内職歴を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・地理学科主任 ・大学院地理学専攻主任 ・文学部人事委員長、全学人事委員 ・大学院紀要委員 ・通信教育部委員会オブザーバー 	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) ① ② ③ ④ ⑤				なし
(学術論文) ①Analysis of the Strong Local Wind in Northwestern Hokkaido, Japan. ② ③ ④ ⑤	共著	2017年6月	北海道地理学会	留萌付近の強風について解析
(学会発表) ①夏季における中央アジアの低気圧移動と降水メカニズム ② ③ ④ ⑤	単著	2017年6月	北海道地理学会	科研の途中経過について報告
(その他) ①2016年の「迷走台風」10号と防災 ② ③ ④ ⑤	単著	2017年10月	帝国書院	台風1610について解説